

土砂災害の発生のおそれに関する情報等を活用した早めの避難により被害を逃れた事例

- 令和5年6月2日からの大雨においては愛知県豊川市御津町において、令和5年6月30日からの大雨においては山口県周南市福川地区において、住宅等が巻き込まれる土砂災害が発生。
- これらの大雨では、線状降水帯による大雨の可能性について呼びかけがなされるなど、大雨や土砂災害に関する情報を元にした事前の避難により、住宅が全壊するなどしたが、人的被害はなかった。

愛知県豊川市御津町の事例



豊川市においては、これまで例年6月に土砂災害防災訓練を実施しており、避難訓練や住民に対して土砂災害に関する講習会を行うなど、土砂災害による被害を防ぐための取組を行っている。

山口県周南市福川地区の事例



近年土砂災害が多く発生しており、土砂災害警戒区域等に指定されている住民の防災意識が高まっている。また、平成30年災を教訓に、国・県・市間で情報共有を行い、早めの対応が生かされている。

